

項目	内容
開催日時	平成27年1月15日(木) 午前10時00分～午後0時00分
開催場所	久留米市役所 4階 401会議室
委員等の出欠状況	委員(25名)：出席22名<内代理7名>、欠席4名 臨時委員(1名)：出席 1名
議事概要	<p>1 開 会</p> <p>2 会長挨拶 (深井副市長) 〔事務局より〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな委員の報告 NPO法人ル・バトー 理事 佐々木久美子 ・委員、臨時委員26名中22名の出席を持って、設置要綱第10条第2項に基づき会議成立を報告 ・3名から傍聴希望があり、運営要領の規定に基づき3名を傍聴席に案内 <p>3 議 事</p> <p>(1) <u>協議第9号 広川町予約型乗合タクシー「ふれあいタクシー」の日高整形外科病院への乗り入れについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広川町の運行する予約型乗合タクシー「ふれあいタクシー」を本市内の日高整形外科病院へ乗り入れることに対して承認を求めるもの ・広川町が実施した調査によると、「ふれあいタクシー」利用者の中には日高整形外科病院への通院者がおり、日高整形外科病院への乗り入れを強く要望する声が上がっている。 ・乗り入れ運行する際には、当該病院の入口の乗降のみとし、市内他所での乗降は行わない計画である。 <p><オブザーバー：広川町 小松氏></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広川町では久留米市内の交通事業者ヒアリングし、上津タクシー、久留米西鉄タクシー、西鉄バスからは問題ないとの回答が得られている。また、当該病院の近くに営業所を置く第一交通からは、是非の判断を地域公共交通会議に委ねるとの回答であった。さらに、当該病院へのヒアリングでは、通院者の約7割が広川町民であり、通院利用のみで構わないので乗り入れていただきたいとの要望が寄せられた。 <p>〔主な質疑応答〕</p> <p>(委 員) 日高整形外科病院以外で、他に要望はあるのか。</p> <p>(事務局) 久留米大学病院や聖マリア病院をはじめ、久留米市内全域への運行要望が確認されている。</p>

項目	内容
議事概要	<p>(委員) 通院者はもともとタクシー利用だと思うが、営業圧迫にならないのか。今後同様の事案が生じたときのためにもタクシー事業者の考えを教えてください。</p> <p>(委員) 営業圏を崩していくのは事業上の大きな問題となるが、本案件の場合は通院者の多くが広川町町民であるため、やむを得ないと考えており、本案件については了承する。</p> <p>(広川町) 帰宅時など、ふれあいタクシーを使えない場合には地元タクシー事業者を利用することを利用者に周知していきたいと考えている。</p> <p>● 協議第9号の協議結果：議案通り承認する</p> <p>(2) <u>報告第11号 生活支援交通「よりみちバス」の導入検討状況について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は城島地域及び北野地域で導入に向けた検討を行っている。 ・検討は、地域住民が参加する生活交通検討会を立ち上げ、地域の実状にあったものとなるように進めている。 ・城島地域では、アンケート調査と検討会を3回実施し、停留所や運行ルートを検討している状況である。 ・北野地域では、アンケート調査と検討会を5回実施し、1月中旬には検討した運行ルートの試走を実施し、停留所設置の折衝を行っていく予定である。 ・北野地域では、大刀洗町のスーパーへの乗り入れを検討しており、現在大刀洗町と協議・調整を行っている。 <p>[主な質疑応答]</p> <p>(委員) アンケートについて、利用意向を示した層の年齢構成はどのような状況か。</p> <p>(事務局) まず、アンケート回答者の多くは高齢者であった。しかし、利用意向については世代間の顕著な差異はみられなかった。その中で、利用意向の割合は年齢が高くなるほど大きくなる傾向が見られている。</p> <p>(副会長) アンケート回収率が北野地域よりも城島地域で低いとのことであったが、城島地域は現在デマンド乗合タクシーが運行されているため生活交通に対する危機感が若干薄いのではないかと考えられる。住民の声として、デマンド乗合タクシーとよりみちバスのどちらがいいというようなものは確認されているのか。</p> <p>(事務局) デマンド乗合タクシーについては、昨年度に登録者全員に対するアンケート調査を行っている。その中では、予</p>

項目	内容
議事概要	<p>約が煩わしく使い勝手が悪いと、以前のコミュニティバスの方がよかったといった意見が見られた。また、デマンド乗合タクシー、タクシー補助、コミュニティバスのどれがいいかという設問では、デマンド乗合タクシーの回答が最も低く、残る2モードがほぼ同程度の回答となっている。</p> <p>(会長) 今後も引き続き地域と検討を進めていっていただきたい。</p> <p>(3) <u>協議第10号 久留米市城島地域デマンド乗合タクシー試験運行期間の延長について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・城島地域デマンド乗合タクシーは平成25年3月から試験運行している。平成26年2月の地域公共交通会議では、よりみちバスへの転換を提示し、よりみちバスの導入までは試験運行期間を延長することで協議が調っている。 ・試験運行期間の延長は、現在平成26年度末まで承認いただいているが、よりみちバスの導入が平成27年度中となることが見込まれるため、更に最大1年間の延長を承認いただきたい。 ・現在の利用状況としては、後期高齢者の利用が多い状況にあり、移動先の約半数は通院の利用となっている。利用は目標には大きく届かないものの、利用回数は増加傾向にある。ただし、実利用者数は微増程度であり、リピーターの利用頻度の増加が利用回数増につながっている状況である。なお、収支の改善を目的に、平成26年度より事業者との契約方式の見直しを行い、経費縮減に努めている。 <p>[主な質疑応答]</p> <p>(委員) 高齢者は新しいシステムになれるのに時間がかかる。低頻度の利用者に対して何がネックになっているのか、どうすれば利用してもらえるのかなどの高齢者の意向を把握して今後に繋げてほしい。また、高齢者利用を促進する工夫を検討されていれば教えてほしい。</p> <p>(事務局) 利用者からの要望等があれば、可能な限り反映したいとは考えている。ただし、現在よりみちバスの導入検討を進めているため、利用促進活動については、控えている状況である。</p> <p>(会長) 平成26年8月に配布した無料券の利用者数は、利用者数127名に含まれているのか。</p> <p>(事務局) 含まれている。</p> <p>(委員) よりみちバス導入に関するアンケート調査で、城島地域の回収率が低いことについて、北野地域に比べて検討会</p>

項目	内容
議事概要	<p>の開催回数が少ない。その理由は何か教えていただきたい。また、2 地域同時の運行開始を目指して大きなインパクトにした方がいいと考える。</p> <p>(事務局) 城島地域については、第1回は台風の影響や第3回は衆議院選挙などの影響で遅れた。同時運行開始は現状では難しいと考えているが、早期運行を目指して検討を進めたい。</p> <p>(副会長) 未登録者の割合が高いように感じるが、運行していることを知らない人が相当数いるのではないか。そうであれば周知が弱いのではないか。</p> <p>(事務局) 周知については、導入当初は地域にも協力いただき、地域行事等でのPRなど積極的に実施した。しかし、現在はよりみちバスの導入を検討している最中であり、転換時の混乱を避ける目的もあり目立った周知を行っていない。そのことが登録者数の伸び悩み要因の一つと考えている。また、予約がなければ運行しないことや、ルートが定まっていないこともあって、地域内を運行している姿をみる機会がないのも認知度が低い要因と考える。</p> <p>よりみちバスについては、そういった反省も踏まえて地域検討会を立ち上げ、地域にあったものを地域で考えてもらい、利用が増加するようにしていきたい。</p> <p>(委員) 運行している姿を確認することができないことは致命的。車両にステッカーを貼ってPRするなど一つの手としてあるのではないか。</p> <p>(会長) デマンド乗合タクシーの延長は必要と考えるが、今後の生活支援交通については、地域にも協力いただき、認知度を向上させ、利用促進を進めていくことが必要である。</p> <p>(委員) よりみちバスが導入されたらデマンド乗合タクシーは廃止になるのか。</p> <p>(会長) 切り替わる。その方法については今後検討していく必要がある。延長期間は1年間であるが、よりみち導入と合わせてデマンドの廃止ということとなる。</p> <p>● 協議第10号の協議結果：議案通り承認する</p> <p>(4) <u>協議第11号 久留米市生活交通改善事業計画（生活交通ネットワーク計画〔バリアフリー化設備等整備事業〕）案について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画は平成26年度の国庫補助交付申請（ノンステップバス購入時の通常車両との価格差の補助）に使用するための事業

項目	内容
議事概要	<p>計画として策定するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度は、ノンステップバス車両を1台導入するよう交通事業者（西日本鉄道株）と調整を進めている（国庫補助はタイミング的に活用できなかった）。 現在、国の補正予算の話もあり、場合によっては平成26年度の導入車両の購入に補助が活用できる可能性があるため、今回ご協議をお願いしたい。 <p>〔主な質疑応答〕</p> <p>（委員）導入の際には利用の多い時間帯に導入することを要望する。また、バス停によってはスロープが出せないところもあり、別途、市として検討を進める必要があるのではないか。</p> <p>● 協議第11号の協議結果：議案通り承認する</p> <p>（5）報告第12号 久留米市地域公共交通網形成計画及び久留米市地域公共交通再編実施計画策定の方針、方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> 本計画は、平成26年5月に改正された地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく計画である。 形成計画は、久留米市都市交通マスタープランの公共交通に関する事項について定める計画であり、現在計画検討中の久留米市立地適正化計画とも連携して、地域が目指す将来像の実現に向けた公共交通の役割や、事業等を示すもの。 再編実施計画は、形成計画の中で記載される路線の再編等に関する事項について定める計画であり、再編事業を実施するための計画である。 来年度の早い時期の策定を目指しており、本年3月には素案を固める予定である。 <p>〔主な質疑応答〕</p> <p>（委員）形成計画の趣旨としては、地域公共交通を充実していくために関係者が何をやっていくのかを明記することである。その際のポイントとしては、一つはまちづくりとの連携の視点、もう一つは公共交通ネットワークの再構築の視点となる。</p> <p>（委員）公共交通としてタクシーも現在活動しているのだが、計画に記載されていない。今後の社会では高齢者の外出をドアトゥードアで確保していく必要があり、そこにはタクシーが不可欠だと考えている。個々の移動を確保していくモードの一つとしてタクシーという言葉に記載していただきたい。</p>

項目	内容
	<p>(委員) 本計画の守備範囲はどこまでなのか。タクシーや自転車は範囲内に入るのか。</p> <p>(事務局) タクシーは守備範囲に入る。自転車については、公共交通として位置付けているが、現時点では公共交通網を構成するモードとしては考えていない。今後検討していきたい。</p> <p>(委員) 公共交通網としては、移動連続性の確保が重要であると考える。その中で、歩行空間の整備も大事なことであり、モード間の乗り継ぎの連携や案内・誘導サインも必要ではないか。さらには、高齢者が外出しない理由にトイレの不安があり、トイレ施設の整備なども盛り込むことはできないのか。</p> <p>(委員) 転入者にとっては、何に乗ればどこに行けるのかが分かるような案内・誘導サインが重要である。また、深夜の緊急時移動手段の情報提供や、ストレッチャー機能付きの車両の情報、ヘルパーなどの人員の情報なども今後検討すべきではないかと考えている。</p> <p>(会長) まずは、拠点づくりを進める中での公共交通ネットワークや、上位計画との役割分担などを整理して、本計画の守備範囲をまとめてもらいたい。</p> <p>● 協議第12号の協議結果：議案通り承認する</p> <p>4 その他</p> <p>(1) <u>今後の予定について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2月に形成計画及び再編実施計画についての素案を郵送するので意見や質問をメールかファクスで提出いただきたい。これをもって書面開催としたい。 ・ 3月27日(金) 13:30～【後日日程変更3月23日(月) 10:00～】 久留米市商工会館5階大ホールにて、形成計画及び再編実施計画についての会議を開催する。 ・ 本日の議事についての意見や質問は、来週中に提出いただきたい。 <p>5 閉会</p>

平成26年度 第4回久留米市地域公共交通会議 議事録

委員、臨時委員、オブザーバー委員出欠名簿

No.	委員区分 第4条	所 属	委 員 名	出欠	代 理 者
1	第1号	久留米市	副市長 深井 敦夫	◎	
2	第2号	西日本鉄道株式会社 自動車事業本部営業部	営業第二課長 中島 徹也	◎	
3	第2号	西鉄バス久留米株式会社	代表取締役社長 安河内 広造	◎	
4	第2号	堀川バス株式会社	代表取締役社長 丸山 健	○	統括部長 田中 智太郎
5	第2号	株式会社甘木観光バス	代表取締役社長 池野 栄次	◎	
6	第3号	九州旅客鉄道株式会社 久留米鉄道事業部	部長 工藤 俊二	◎	
7	第4号	一般社団法人福岡県バス協会	専務理事 阿部 功	×	
8	第5号	福岡県筑後地区タクシー協会	会長 大霧 洋海	○	専務理事 野口 安博
9	第5号	久留米市タクシー協会	会長 中川 恵司	×	
10	第6号	久留米市校区 まちづくり連絡協議会	会長 吉田 輝彰	◎	
11	第6号	久留米 男女共同参画推進ネットワーク	会長 吉岡 マサヨ	○	事務局長 永延 桂子
12	第6号	NPO法人 ル・バトー	理事 佐々木 久美子	◎	
13	第6号	NPO法人 高齢者快適生活づくり研究会	代表理事 吉永 美佐子	◎	
14	第6号	子育て支援団体 もーりえ	代表 田町 菜穂子	◎	
15	第7号	国土交通省 九州運輸局福岡運輸支局	支局長 中川原 達也	○	主席運輸企画専門官 嘉村 英夫
16	第8号	西鉄グループバス労働組合	福岡本部副執行委員長 笈島 健嗣	◎	
17	第9号	国土交通省福岡国道事務所	計画課長 船井 敏勝	◎	
18	第9号	福岡県県土整備部 久留米県土整備事務所	地域整備主幹 牛島 善治	◎	
19	第9号	久留米市都市建設部	部長 上村 一明	◎	
20	第10号	久留米警察署	交通第一課長 大森 隆生	○	交通規制係長 古川 誠一
21	第10号	うきは警察署	交通課長 大山 洋一	○	交通係長 和田 亮二
22	第11号	福岡大学工学部	教授 辰巳 浩	◎	
23	第11号	大分大学経済学部	准教授 大井 尚司	×	
24	第12号	福岡県企画・地域振興部 交通政策課	係長 後藤 昭一	○	交通政策課主査 肥後 孝
25	第12号	久留米市商工会議所 中小企業相談所地域振興課	課長 古家 美恵子	×	
26	第6条 (臨時)	城島地域 校区まちづくり連絡会議	副会長 田本 栄之	◎	

【◎：出席、○：代理、×：欠席】